

～明治時代はどんな時代？～

単
元
名

文明開化を調べよう

教科書出版社名（東京書籍）

○ 小学校（6）年 教科等（社会）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

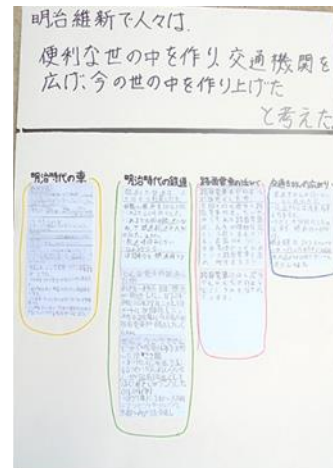
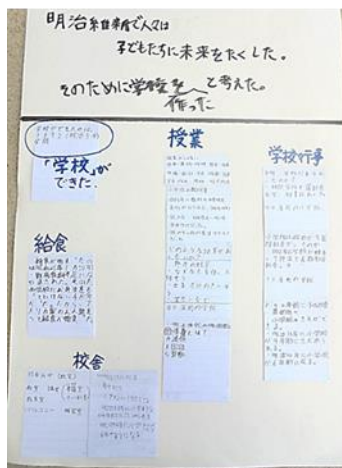
- ・明治時代に始まったこと（もの）を調べ、どんな時代なのかを見通す力。
- ・図書資料を使い、目的に合った検索方法を知り、分類・整理した上で、仮説を立てる力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・教科書、書籍、インターネットで情報を集める。
- ・公立図書館からの書籍も活用し、児童に十分いきわたるように準備する。

○ 学習の展開（全3時間）

第1次	<ul style="list-style-type: none">・『明治時代に、外国から入ってきたもの・ことを調べる』という課題を提示する。・教科書を読み、グループで調べたいもの・ことを決める。
第2次	<ul style="list-style-type: none">・資料の中から必要な情報が載っている個所を探し、付箋を使って1枚に1つ調べた事柄を書く。（個人作業）・調べた事柄を分類し、分類した事柄に小見出しをつける。（グループで協働作業）・小見出しをもとに、どういう時代といえるか考えたことを発表する。・ふりかえりを行う。・付箋を個人のレポートに貼り直し、友だちの調べた情報や意見を取り入れながら学んだことをまとめる。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・明治時代に外国から日本に取り入れられ、現代につながっているもの・ことが多くあることに気づき、明治時代の学習の興味付けになった。
② 課題	・必要な情報を抜き出すことが難しい。 ・すぐにインターネット検索に頼る児童が多い中、図書資料から情報を読み解く力がなければ、ネット検索で得た情報を整理することなく、そのまま使ってしまう。成果物を作るのが目的ではなく、正しく情報を得ること、読み取ること、表現できる力をつけるように系統立てて学習を組み立てる必要がある。
③ 児童の感想・ふりかえり	・授業では習っていないことも知ることができて楽しかった。 ・調べることがおもしろかった。明治時代から今に続くものがいっぱい出てきた。 ・普段遊んでいるスポーツが、まさか外国から来たものだったとは知らなかった。 ・本を少し読むだけでも明治時代のことが結構わかったので、改めて本が好きになった。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・調べ学習は、選書や情報の整理などに時間がかかるため、今回は1時間で一連の学習ができるよう計画した。そのために下記の点について工夫した。 ①図書資料の用意を学校図書館担当教諭が行い、必要な図書を選ぶ時間を短縮した。 ②調べ・選択することを個人作業、分類・整理・考察をグループ作業とすることで多くの情報を得られるようにした。
